

平成 18 年（2006 年） 9 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（４日目）

平成 18 年 9 月 19 日（火）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	仲 村 家 治 (自民・無所属 連合)	1 行政全般に ついて	沖縄振興特別措置法について (1) 後期沖縄振興計画の展望について (2) 特に本市に関わる案件について
		2 戦後処理問 題について	旧那覇飛行場用地問題解決対策事業について (1) 対策事業の内容について (2) 今後の対応について (3) 沖縄振興計画と同問題の関連について
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（４日目） 平成 18 年 9 月 19 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	1 がん対策について 2 市政情報の 発信について 3 芸術監督設置事業について	昨年 1 月、厚生労働省より那覇市立病院が南部医療圏における地域がん診療連携拠点病院として指定を受けた。折しも、先の通常国会において「がん対策基本法」が成立。本市のがん対策について伺う (1) 県内におけるがん患者の状況について (2) 拠点病院指定の意義と役割、課題について (3) がん登録（院内・地域）の現状と課題について インターネットの普及により、市政情報の入手を市のホームページに頼る市民が増えている。平成 15 年 2 月定例会において、パソコンより手軽な携帯電話用の市ホームページの開設について提案したが、その後の進捗状況について伺う (1) 本市のホームページの利用状況について (2) 市民の携帯電話の保有状況について (3) 携帯電話向け市政情報の発信について 昨年 6 月から、特色ある多彩な文化事業の一環として芸術監督が設置され、本市の小中高生も参加して活発に事業を展開している (1) これまでの成果について (2) 今後の取り組みについて 【答弁を求める者】 市長、助役、病院事業管理者、関係部長

個人質問（４日目） 平成 18 年 9 月 19 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	上 里 直 司 (民主クラブ)	1 再開発事業 について 2 図書館行政 について	(1) モノレール旭橋駅周辺地区再開発に伴い、「グループホームがじゅまる」が、転居を余儀なくされている。今年 6 月下旬に、グループホーム移転先として市営住宅への入居を希望する旨の要請書が市長あてに提出されているが、いまだに市は受け入れ可否の判断をしていないのはなぜか 市営住宅への優先入居の基準などはあるのかも併せて伺う (2) 牧志・安里地区市街地再開発事業における、「公共公益施設」部分の面積と入居予定施設について伺う (1) 平成13年 7 月に文部科学省から告示された「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に照らし合せると、本市の図書館行政はその基準を満たしているのか (2) 本市における中央図書館の役割とは何か。 また、類似都市と県庁所在地における中央図書館の面積と比較すると、本市の中央図書館の規模はどれくらいか (3) 生涯学習センターの建設は、社会教育整備計画のとおり実施されるのか (4) 市立図書館における図書館司書の役割とその重要性について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(5) 市立図書館における職員と職員内の図書館司書有資格者の人数。また、市職員における図書館司書の有資格者の人数について伺う (6) 図書館司書資格者や専門的知識を有する者を、図書館だけに勤務できるよう、採用できないか (7) 市立図書館において、図書および資料は、劣化や損耗を防ぐよう、適切な環境において保存されているのか 【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 18 年 9 月 19 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	山 内 盛 三 (自民・無所属 連合)	1 防災活動の 取り組みにつ いて 2 災害時等 における応急活 動の協力に関 する協定につ いて 3 首里鳥堀町 陥没災害につ いて	(1) 那覇市総合防災訓練の基本的な考え方と 取り組みについて ① 災害対策基本法について ② 那覇市地域防災計画について (2) 去る平成17年度の防災の実働訓練内容と 総括について (3) 今年度の防災の実働訓練の内容と取り組 みについて (4) 国、県との防災実働連携訓練について (1) 現在、民間との協定締結を行っている内容 について (2) 協定締結後に災害が発生し、協定が履行さ れた事例は (1) 災害対策の主な経過について (2) 被害状況の把握と判定について (3) 被災者への災害見舞金にについて 【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（４日目） 平成 18 年 9 月 19 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	玉 城 仁 章 (そうぞう)	1 水害対策について 2 牧志公設市場の管理について	今年 6 月以降、本県は大雨の影響から、土砂崩れや地滑りにより、住民非難、被害が各地域で相次ぎ発生した 平年の気象状況は、10 月下旬までは台風接近のシーズンであるので、災害に対する気配りに万全の対策の取り組みを願うものである 本市において、100mm を超える集中豪雨に伴う排水は、道路や雨水管を通して小、中の河川へと合流し、一部は地下浸透するが、河川流域の開発の遅れに伴い、遊水、保水機能の低下と満潮時が重なり、河川氾濫の一部地域は、周期的に都市機能が麻痺する状況である。そのことから、次の事項を伺う (1) 平和通り、久茂地川上流一帯の冠水、浸水 水害対策の整備状況を伺う (2) 豪雨時の地盤の緩みによる地滑り、道路陥没、亀裂や崩壊、居住敷地壁の崩壊等、危険性のある箇所の調査実態を示していただきたい 本市管理の牧志公設市場、その他の水道給水施設の親メーター、子メーターの共同使用水量の誤差額は適正に負担されているのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 消防行政について	(1) 消防団員に定年制、役員任期を設け、制度改革を断行する主な要因は何か (2) 消防団員と消防職員の職務はどのように関連するか。なお、防災関連についても説明を願う (3) 消防団への出動指令の事務分掌はどうなっているか (4) 定年、任期制度の条例案について制度提案の作業過程を伺う 【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（４日目） 平成 18 年 9 月 19 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	平 良 識 子 (社 社 連 合)	1 男女共同参画推進について 2 教育行政について	(1) 本市における女性職員の管理職登用促進について伺う ① 市長部局の係長クラス以上の女性職員の割合 ② 課題と数値目標、今後の取り組みについて (2) 育児休業制度の取得について伺う ① 本市男性職員のこれまでの取得率 ② 育児休業取得と「人事評価制度」への影響 ③ 課題と、数値目標、今後の取り組み (3) 「なは男女平等推進プラン」の実施状況と第三次計画に向けた、課題、予算の推移、今後の取り組みについて伺う 「地域に開かれた学校」として学校開放の推進と子どもたちの安全対策について、教育委員会としてどのような方針に基づき、市内小・中学校へ対応をしているのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 特色あるまちづくりについて	市内の戦争遺跡を活用した特色あるまちづくりについて、以下何う (1) 戦争遺跡の保存について ① 戦争遺跡の意義と法的根拠 ② 市内の戦争遺跡の種類と、その数、調査状況 ③ 保存の課題、今後の取り組み (2) 戦争遺跡の活用について ① 平和事業 (ア) 「平和学習ガイド事業」の取り組みと課題 (イ) 市内の戦争遺跡をとおした「平和学習ガイド事業」の見通し ② 平和教育 (ア) 市内の戦争遺跡をとおした平和教育の実態 (イ) 市内の戦争遺跡をとおした平和学習の見通し (3) 県内及び県外の戦争遺跡の保存・活用状況について (4) 市内の特色あるまちづくりに向けて、戦争遺跡を文化財に指定し、活用することについて、市長と教育長の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 18 年 9 月 19 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	桑 江 豊 (公 明 党)	1 農業行政について	(1) 本市の農家戸数、農地面積（市内、市外は市町村別）、生産品目について伺う (2) 「広域連携等産地競争力強化支援事業」の概要 (3) 9月定例会一般会計補正予算、農業振興費350万円の使途は
		2 道路行政について	(1) 市内道路（国道、県道、市道）の街路樹剪定の現状と今後の対応策 (2) とよみ大橋入り口交差点付近に設置された「漫湖水鳥・湿地センター」の標識が別の道路案内標識にかくれて見えにくいとの市民からの苦情がある ① この状況を把握しているか ② 今後改善できるのか 【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（４日目） 平成 18 年 9 月 19 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	與 儀 實 司 (自民・無所属 連合)	1 交通安全行 政について	スクールゾーンの新規路面表示について (1) 那覇市寄宮タウンプラザかねひで「与儀公園前店」及び隣接する社会福祉法人みやぎはら保育園及びエホバの王国に隣接の交差点。当交差点は、従来から非常に危険である旨指摘され続けてきた経緯がある その理由として ① 交差点の幅が四方ともほぼ同幅にて優先の判断が難しい ② かねひでスーパーの開店に伴い、スーパー利用者の車両が当交差点の中心に向かい二方向から進入。スーパーへの利用車両が流れを阻むケースが多々ある ③ 当交差点の一角に、みやぎはら保育園、その隣にさくら保育園、さらに県知事公舎ふもとのわかば保育園と、合計でおおむね 300 人を超える幼児童の通学路でもある ④ 特に朝の通学時においては、保育園児の送り迎えの車両の一時停止が煩雑となり、ドライバーの視野を遮り危険度が増す ⑤ 旧母子センター前に既にスクールゾーンの表示もあるが、薄くてほとんど注意喚起に至っている状況ではない 以上申し述べたように急ぎの対策が必要だと思う。対応を問う (2) 浮島通り（丸国マーケット）方面から、壺屋児童館前を通り神里原通方面に合流する。Y字路横断歩道手前の注意喚起の表示、スクールゾーン新規路面表示が可能かどうか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 商店街の振興について	平成 18 年 6 月 7 日「中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的推進に関する法律の一部を改正する等の法律」が公布されたが (1) 本市の取り組みについて (2) 商店街振興総合事業の支援策について 過去 3 年間（事業の名称と実績） (3) 現在の支援事業と予算 【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（４日目） 平成 18 年 9 月 19 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	渡久地 修 (日本共産党)	1 産業振興、食教育について 2 学校での宇宙、星座、星などに関する教育について	(1) 地場産業振興、伝統文化教育、食教育などに大きな効果があると学校給食用食器に琉球漆器の導入を提案し、モデル校で実施されてきた。教育的効果、地場産業振興への効果について伺う (2) モデル校への導入の際、洗浄などの改善点などを研究するように指摘してきたが、洗浄、乾燥などの技術的な点で、具体的な検証について問う (3) 地場産業・伝統産業育成、伝統・文化教育、食教育の推進の立場から、その後、全校普及へどのような努力を行ってきたか。また、全校へ普及すべき段階にきていると思うがどうか (1) どのような位置づけになっているか。また、その中でプラネタリウムの意義、役割、今後の計画について (2) 川崎青少年学館などに設置されている小型のプラネタリウム・メガスターの性能、費用などの概要について、本市のプラネタリウムとの比較を含め伺う (3) メガスターは、移動もでき、学校での投影も可能とのことである。導入して、学校教育に役立てるようにしたらどうか。また、今後の学校改築の際に、投影も可能な教室を設けるなど、設計段階から検討したらいいと思うが見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 子どもの命の安全について	(1) 那覇市の小学校プールの実態について ① 小学校と中学校の先生の受け持ち教科の大きな違いは何か。小学校のプールの授業を担当するのは、体育専門の先生か ② 安全補助員を廃止した際、教育委員会は、2学級一緒に授業を行い対応するといっていたが、実際には3学級一緒に授業している学校もあると聞く。その実態について問う ③ 夏休みの学校プール開放はどうなっているか。この5カ年間の実績について問う ④ 校長会から安全補助員の配置の要望が出されていると聞くが、内容はどのようなものか (2) ふじみ野市のプールでの児童死亡事故についての認識と、プールでの事故を絶対に起こさないために、どのような教訓を導き出しているのか 那覇市の小学校プール安全管理補助員を復活すべきであると思うが見解を問う
		4 城南小学校の学童保育所について	学校内にプレハブを建てるとのことだったがどのようになっているか 学童保育について、安心して継続運営できるように、市として責任をもって対応すべきではないか
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長